

3. 黒大豆「岡山系統1号」の種子の保存方法（技術）			
[要約] 「岡山系統1号」の種子を水分12%程度まで乾燥させ、ポリエチレン袋に入れて密封し、約5℃で保存すると、収穫後3年間は高い出芽率を維持できる。			
研究室名	作物研究室	連絡先	086-955-0275

[背景・ねらい]

品質の優れた黒大豆を生産するためには、優良な種子を用いる必要がある。そこで、「岡山系統1号」の出芽率を長期にわたって維持でき、優良種子を農家単位で保存するための方法を確立する。

[成果の概要・特徴]

1. 水分12.4%の乾燥種子をポリエチレン袋に入れて密封し、約5℃の家庭用冷蔵庫で保存すると、保存期間の種子水分は安定し（図1）、収穫後3年経過しても高い出芽率を維持できる（図2）。
2. 水分12.4%の乾燥種子であっても室温で保存した種子は、収穫後1年で出芽能力を失う（図2）。
3. 水分16.2%の高水分種子は冷蔵庫で保存しても保存開始から半年でカビが生じ（データ省略）、出芽率も低下するので保存には適さない（図2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 予備種子の保存方法として活用できる。
2. ポリエチレン袋と冷蔵庫による種子の長期保存は、12%程度まで風乾させた種子で行う。
3. 保存中、袋を損傷させないようにする。

[具体的データ]

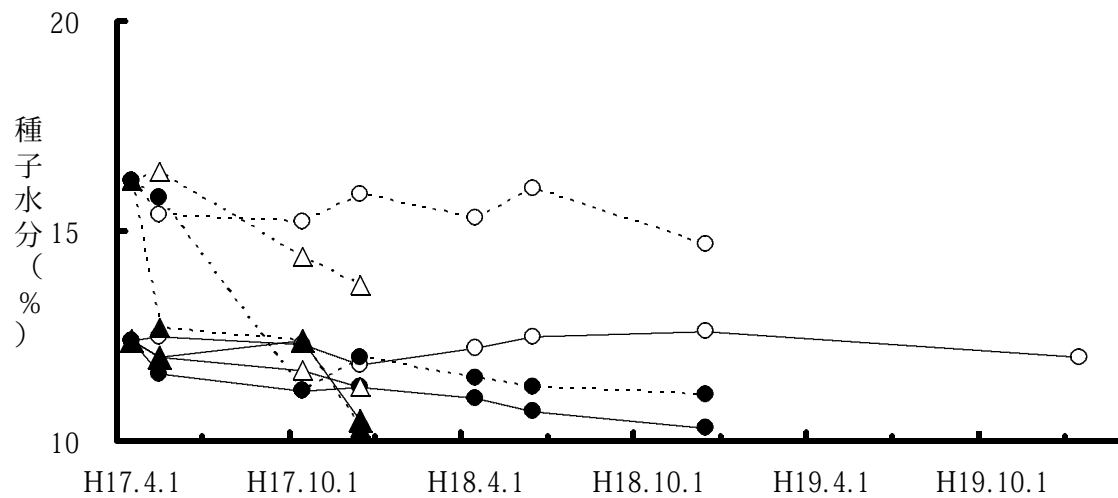


図1 平成16年産「岡山系統1号」種子の保存条件と種子水分

———：乾燥種子 - - - - -：高水分種子
 ○：ポリエチレン袋密封・冷蔵庫保存
 ●：紙袋・冷蔵庫保存
 △：ポリエチレン袋密封・室温保存
 ▲：紙袋・室温保存

注) 保存は平成17年4月27日から開始した
 種子の乾燥は風乾によった

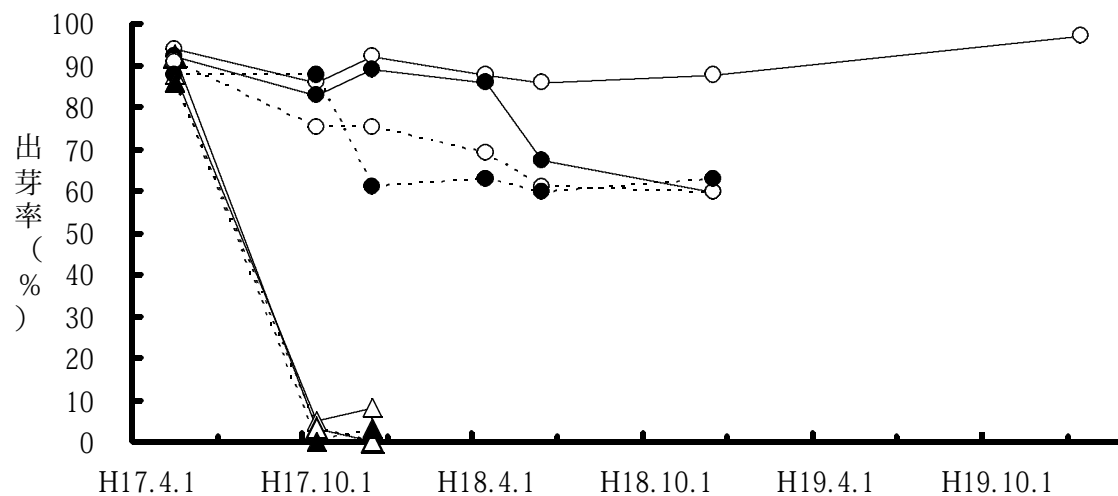


図2 平成16年産「岡山系統1号」種子の保存条件と出芽率

注) 凡例は図1と同じ

[その他]

試験研究課題・事業名：黒大豆の播種機を用いた直播栽培における発芽、苗立ちの
 向上対策

予算区分：県単

研究期間：平成17～19年度

関連情報等：平成16年度試験研究主要成果「大粒で品質に優れた黒大豆（丹波黒）
 の岡山系統1（情報）」